

臨床研究「重症患者における腹部症状が患者アウトカムに与える影響
：後方視的観察研究」について

筑波大学附属病院 ICU では、筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会の承認を受け、標題の臨床研究を実施します。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合には、担当者までご連絡をお願い致します。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

集中治療室に入られる重症な患者さまは、下痢や便秘、嘔吐、腸蠕動が低下するなどの症状がよく起こると言われています。これらは患者さまの不快感につながり、患者さまの死亡率の増加や入院日数の延長などに関連しているという報告もあります。

そのため私たちは、当院の集中治療室において重症患者のみなさまにどのような腹部症状がどれくらい発生しているか、そして患者さまの入院生活に悪影響を及ぼしていないかを調査したいと考えています。そしてこの研究を、今後これらの腹部症状を予防するための研究の資料の一助にしたいと考えております。

② 研究対象者

2017年4月から2019年3月までに集中治療室に入室された成人患者さまを対象としています。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2021年3月31日まで

④ 研究の方法

期間中に集中治療室に入室された成人患者さまのカルテから、下痢や便秘、嘔吐、腸蠕動の低下などの腹部症状発生の有無、程度などのデータを収集させていただきます。また、死亡率や入院期間、人工呼吸器を使用していた期間などのデータを収集させていただきます。患者さまに追加でご協力いただくことはありません。

⑤ 試料・情報の項目

便秘日数、下痢日数、腸蠕動音、嘔吐の有無、腹部膨満、年齢、性別、BMI、重症度スコ

ア、併存疾患、診療科、入院期間、死亡の有無、経管栄養の内容、人工呼吸器期間、使用薬剤（血管収縮薬、鎮静剤、鎮痛剤）、鎮静スコア、離床の有無、検査データ

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者

筑波大学 医学医療系 救急・集中治療医学

教授 井上貴昭

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者様やご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：ICU 看護師 相川 玄

電話・FAX：029-896-7286

（対応可能時間：平日 9-17 時）